

無機化学レポート課題 (2)

(課題)

[MX₃Y₃] および [MX₄Y₂]構造の八面体型錯体において、異性体の有無を論ぜよ。

(ただし、Mは金属イオン、XとYはそれぞれ単座配位子)

なお、書物・インターネットなどの情報を元に作成した場合は、必ず(参考文献)として出典を最後につけること。

(注意事項)

(1)レポート用紙, ルーズリーフ用紙, コピー用紙など(用紙種類問わない, A4サイズで提出)

(2)枚数制限無し

(3)1枚目の最初に, 学籍番号, 氏名, 提出日を記載して, 左上を綴る。

(4)手書き, ワードプロ問わない。(PC作成の場合のみ, メールへの添付による提出でも良い)

(5)メールの場合, 必ず返信をするので, 返信がない場合は問い合わせること。

メールアドレス:iwamotok(ここに@を入れてください)u-shizuoka-ken.ac.jp

(6)他人のものをコピーしない。サイト情報をコピーしない。

提出期限	5月30日(水)13:00
提出場所	5階 医薬品化学分野 第三研究室(6505) 入り口入ってすぐ左の提出箱へ
注意事項・その他	5点満点とする。 (あと2回のレポートを併せて20点満点, 残りは期末試験80点) なるべく期限前に速やかに提出するのが望ましい。 諸情報を参考にすることは構わないが, 丸写しにはしない。

(参考) 引用文献について

引用文献の記述の際、レポート内のどの部分が、自分が引用した文献に相当するのかを明記するとよい。

例)「レポート本文中」

・・・この呈色反応は鋭敏である。¹⁾ また、文献によれば²⁾・・・

右肩に引用文献の番号を付す

参考文献

1) 金属錯体とは <http://www.cms.nagasaki-u.ac.jp/lab/sakutai/guide/complexes.htm> (2017/05/10 アクセス)

2) ハウスクロフト, 無機化学(上) 東京化学同人 p.212